



## 2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス  
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 (氏名) 林田 喜一郎  
 (氏名) 岩崎 善彦  
 TEL 03-6661-7840

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	9,880	10.2	446	78.6	438	67.6	17	88.5
2018年9月期第2四半期	8,968	2.6	249	16.4	261	17.3	148	4.0

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 15百万円 (108.6%) 2018年9月期第2四半期 178百万円 (3.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	3.38	3.35
2018年9月期第2四半期	29.42	29.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	7,188	2,761	38.4
2018年9月期	7,026	2,829	40.3

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 2,761百万円 2018年9月期 2,829百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		10.00	10.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,046	4.2	339	33.7	336	24.3	50	131.6	9.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年5月14日)公表いたしました「特別損失の計上及び第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	5,285,600 株	2018年9月期	5,285,600 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	240,170 株	2018年9月期	240,165 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	5,045,431 株	2018年9月期2Q	5,044,735 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式(2019年9月期2Q及び2018年9月期末154,800株)が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2019年9月期2Q 154,800株、2018年9月期2Q 155,500株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が減少傾向にあり、景気動向指数も大きく低下、景気は下方局面に入った可能性があるとの見方もあります。先行きについては景気調整局面がどう展開するかに注視しつつ、景気悪化の原因となった海外経済、とりわけ中国経済の動向に留意する必要があります。

当社グループの主要顧客であるホテルにおいては、引き続き訪日外客が増加傾向にある中で、一定の稼働率を維持しているものの、都心部では供給過剰により宿泊料金の伸び率は鈍化しており、競争は激化しています。百貨店等の商業施設については、訪日外客による免税品売上が好調に推移しており、経営成績は復調傾向にあります。金融機関、特に銀行においては店舗統合等業務の効率化を進めているものの、収益性の低下が続いています。高齢者福祉施設については、マーケットの拡大が引き続き続いています。人手不足や介護報酬改定への対応を含め、効率化が求められています。このような環境下にあつて当社グループは、積極的な営業展開により大型事業所の新規受注や、新しい顧客の獲得等が進み、前年を上回る売上を上げることができました。営業利益・経常利益については売上増に伴い、増益となったものの、フードサービスセグメントにおける食材販売事業が、大型契約の終了に伴い、通期で大幅な損失拡大が予測されることから、減損損失を計上することとなり、親会社株主に帰属する四半期純利益については前年を大きく下回ることとなりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間における連結売上高は9,880百万円（前年同期比10.2%増）、連結営業利益は446百万円（前年同期比78.6%増）、連結経常利益は438百万円（前年同期比67.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円（前年同期比88.5%減）となりました。

当第 2 四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の業況は以下のとおりです。

## ① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業となるセグメントです。

当第 2 四半期連結累計期間においては、撤退した事業所もありましたが、既存事業所が安定的に売上を確保したことに加え、新規受注した大型事業所が増収に大きく貢献したことで前年を上回る売上となりました。費用面においては新規開業に伴うイニシャルコストの負担があつたものの、費用のうち大きな割合を占める人件費が売上増に見合った範囲でコントロールされたことから、利益についても前年以上の実績となりました。

この結果、売上高は3,613百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は192百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

## ② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・レストラン運営の受託、高齢者福祉施設向け食材販売及び受託給食事業を展開し、フードサービス事業としてセグメントを構成します。

当第 2 四半期連結累計期間においては、既存の従業員食堂・レストラン運営の受託と食材販売事業が堅調に推移したこと、派遣事業収入の計上、また、福祉系施設と建設系の受託案件が新たに 5 件スタートしたことから、売上については前年を上回ることとなりました。費用については、適正な原価管理と人件費管理が行われたことに加え、その他経費の執行が抑制されたことから、損失を前年以下とすることができました。

この結果、売上高は2,631百万円（前年同期比2.4%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失53百万円）となりました。

## ③ 空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及び香りまでを提供する空間プロデュース事業としてセグメントを構成します。また、当期11月よりMood Media Japan株式会社を連結の範囲とし、同社の業績を当該セグメントに含めております。

当第 2 四半期連結累計期間においては、金融機関への大型件名の納入が進んだことに加え、法人営業部門においては新しい顧客の開拓が進み、幅広い顧客へ様々な商材を納入することができました。音響機材については、国内製品に加え、海外ブランドに関わるマーケティングの充実により販売が拡大し、売上は前年を上回ることとなりました。

この結果、売上高は3,621百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益は274百万円（前年同期比103.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べて162百万円増加し、7,188百万円となりました。資産の増減の内訳は流動資産が498百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金595百万円の増加によるものであります。固定資産については336百万円の減少となりました。主な要因は、投資有価証券の減少103百万円並びにヤマト食品株式会社の減損による有形固定資産148百万円の減少、のれんの減少87百万円、投資不動産の減少15百万円によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて229百万円増加し、4,426百万円となりました。負債の増減の内訳は流動負債が331百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金256百万円の増加、未払金65百万円の増加によるものであります。固定負債については102百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金95百万円の減少によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて67百万円減少し、2,761百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当52百万円による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金が32百万円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より96百万円減少し、973百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が206百万円となり、減損損失の増加252百万円、売上債権の増加561百万円等により、得られた資金は17百万円（前年同期は118百万円の取得）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入20百万円、有形固定資産の取得による支出21百万円等により、使用した資金は7百万円（前年同期は49百万円の使用）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金50百万円の増加、長期借入金95百万円の返済による支出、配当金の支払い52百万円等により、使用した資金は106百万円（前年同期は50百万円の取得）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月13日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2019年5月14日)公表いたしました「特別損失の計上及び第2四半期業績予想と実績との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,070,768	973,959
受取手形及び売掛金	2,092,168	2,687,932
有価証券	20,000	—
商品及び製品	371,944	408,999
仕掛品	54,344	34,299
原材料及び貯蔵品	33,837	29,084
その他	95,220	101,926
貸倒引当金	△1,378	△1,022
流動資産合計	3,736,906	4,235,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,126,529	1,108,895
減価償却累計額	△561,321	△579,710
建物及び構築物 (純額)	565,208	529,184
土地	1,233,838	1,114,706
その他	189,062	201,823
減価償却累計額	△140,718	△154,420
その他 (純額)	48,344	47,402
有形固定資産合計	1,847,391	1,691,294
無形固定資産		
のれん	96,202	48,453
その他	145,754	133,762
無形固定資産合計	241,956	182,216
投資その他の資産		
投資有価証券	723,671	620,531
繰延税金資産	149,210	147,976
その他	333,254	316,553
貸倒引当金	△6,113	△5,472
投資その他の資産合計	1,200,022	1,079,588
固定資産合計	3,289,370	2,953,099
資産合計	7,026,276	7,188,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	651,164	907,502
短期借入金	750,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	190,000	190,000
未払金	746,519	812,443
未払法人税等	137,830	131,027
賞与引当金	171,071	132,320
その他	434,147	439,376
流動負債合計	3,080,732	3,412,670
固定負債		
長期借入金	675,000	580,000
リース債務	93,863	85,307
退職給付に係る負債	293,921	295,677
株式給付引当金	15,883	15,883
長期未払金	22,544	22,544
資産除去債務	9,512	9,611
その他	5,782	5,000
固定負債合計	1,116,507	1,014,025
負債合計	4,197,239	4,426,695
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	2,124,032	2,089,065
自己株式	△99,506	△99,508
株主資本合計	2,697,394	2,662,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,642	99,157
その他の包括利益累計額合計	131,642	99,157
純資産合計	2,829,036	2,761,584
負債純資産合計	7,026,276	7,188,279

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,968,278	9,880,612
売上原価	7,356,457	7,990,920
売上総利益	1,611,820	1,889,692
販売費及び一般管理費	1,361,924	1,443,290
営業利益	249,896	446,401
営業外収益		
受取利息	708	707
受取配当金	4,138	13,623
受取賃貸料	9,443	8,802
為替差益	1,768	1,900
その他	13,445	10,076
営業外収益合計	29,504	35,110
営業外費用		
支払利息	14,797	13,342
支払手数料	1,551	27,605
その他	1,158	1,706
営業外費用合計	17,507	42,654
経常利益	261,893	438,858
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36
有形固定資産売却益	45	46
段階取得に係る差益	—	20,557
特別利益合計	45	20,640
特別損失		
固定資産除却損	57	—
減損損失	—	252,896
特別損失合計	57	252,896
税金等調整前四半期純利益	261,881	206,602
法人税、住民税及び事業税	114,896	172,492
法人税等調整額	△1,434	17,074
法人税等合計	113,461	189,566
四半期純利益	148,419	17,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,419	17,036



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	148,419	17,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,454	△32,484
その他の包括利益合計	30,454	△32,484
四半期包括利益	178,874	△15,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,874	△15,448
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	261,881	206,602
減価償却費	39,316	44,078
減損損失	—	252,896
のれん償却額	8,254	10,916
持分法による投資損益(△は益)	△891	△1,260
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△36
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△46
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△20,557
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△714	△997
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,087	△1,197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,853	△38,751
受取利息及び受取配当金	△4,847	△14,330
支払利息	14,797	13,342
売上債権の増減額(△は増加)	△510,224	△561,344
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,430	△11,640
仕入債務の増減額(△は減少)	296,385	254,449
未払金の増減額(△は減少)	44,192	69,906
未払又は未収消費税等の増減額	4,123	27,632
その他	△3,374	△34,213
小計	119,703	195,450
利息及び配当金の受取額	9,015	14,197
利息の支払額	△14,668	△13,319
法人税等の支払額	△57,090	△180,123
法人税等の還付額	61,588	1,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,548	17,441
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,997	△3,128
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	20,046
有形固定資産の取得による支出	△22,799	△21,351
有形固定資産の売却による収入	50	46
無形固定資産の取得による支出	△14,267	△4,310
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△4,142
保険積立金の解約による収入	—	6,096
投資不動産の賃貸による収入	4,140	4,140
その他	△13,870	△4,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,745	△7,567
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△119,010	△95,000
配当金の支払額	△52,089	△52,238
セール・アンド・リースバックによる収入	30,500	—
その他	△8,692	△9,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,707	△106,682
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119,510	△96,809
現金及び現金同等物の期首残高	1,088,039	1,070,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,207,550	973,959

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	3,438,805	2,569,917	2,942,306	8,951,029	17,249	8,968,278	—	8,968,278
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	600	115	3,003	3,719	145,506	149,225	△149,225	—
計	3,439,405	2,570,032	2,945,310	8,954,748	162,755	9,117,503	△149,225	8,968,278
セグメント利益 又は損失(△)	151,856	△53,030	134,956	233,782	14,929	248,711	1,185	249,896

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額1,185千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	3,612,334	2,631,854	3,616,095	9,860,284	20,328	9,880,612	—	9,880,612
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	780	102	5,730	6,613	151,358	157,971	△157,971	—
計	3,613,114	2,631,957	3,621,826	9,866,898	171,686	10,038,584	△157,971	9,880,612
セグメント利益 又は損失(△)	192,886	△3,522	274,359	463,723	17,365	481,089	△34,687	446,401

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△34,687千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 第1四半期連結会計期間において、Mood Media Japan株式会社を連結の範囲に含めたことにより、同社の営む事業を「空間プロデュース事業」セグメントに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フードサービス事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に252,896千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「フードサービス事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。この事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間において87,947千円であります。